

令和 2 年度 学校経営計画書

学校番号	12	学校名	静岡県立袋井特別支援学校	校長名	佐藤 徹
------	----	-----	--------------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自ら光る子を育てる ～人間ならではの感性を働かせて豊かに生きる～

(2) 目指す学校像

ア 安心して生活、学習できる学校 【安全・安心な学校】

イ 自分の力を精いっぱい発揮できる学校 【子ども主体の学校】

ウ 保護者、地域とともに歩む学校 【開かれた学校】

(3) 目標具現化の柱

ア 学びを支える環境をつくる

イ 学びを積み上げる授業をつくる

ウ 学びを豊かにする心と体をつくる

エ 学びを広げる関係をつくる

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 学びを支える環境をつくる				
1	整理整頓の徹底による安全で落ち着いた学習環境の実現	・廊下等の一斉整理 年3回 ・共有保管場所の確認と管理する物品の明確化	「廊下の棚の撤去」を目指し、整理・廃棄を行い廊下にある物・棚を減らした。	総務課 学部
2 ①	危機・安全対応の再確認とマニュアルの見直し	・マニュアルの刷新とクラウド化 ・各種訓練の実施	マニュアルに対する理解が深まり、緊急事態に即応した行動がとれる。	危機管理課
2 ②	全教職員の医療的ケアに対する理解向上	・医療的ケア研修の実施 ・ヒヤリハットや配慮事項の共有 学部会毎	医療的ケアの安全な実施について、基本的事項を理解している。	保健給食課
3	教職員の高い人権意識によるより良い学校風土の醸成	・月の目標「スマイル目標」の掲示と学部会を活用してのGW及び評価 ・人権伝達研修会 8月	相手を尊重する言動を心がけて子ども・同僚と接している。	生徒指導課
4	P D C A サイクルの好循環化による授業づくりと教育課程づくり	・年間指導計画の見直し 学期末 ・反省を生かした年間指導計画の作成 年度末	P D C - A（授業改善と教育課程の見直し）に取り組み、教育力を向上させた。	教務課
5	学校課題を踏まえた短中長期的な予算計画の策定と予算執行	・担当者とのヒアリングの実施 必要に応じて ・施設点検結果等をもとにした予算要求	課題を見据えた予算計画を策定し、効果的な予算執行ができた。	事務部
6 ①	教育公務員としての倫理観の向上	・校長講話 年12回 ・スマイル研修 年3回	不祥事を起こさなかった。	管理職
6 ②	袋特流働き方改革の推進	・0ベースからの立案と検討業務の見直し 学期毎 ・業務改善チームからの提言を受けた取り組み ・持ち時間の見直しと事務処理時間の調査 学期毎	既存の業務を「続ける-やめる-変える-減らす-始める」の視点で見直した。	管理職
イ 学びを積み上げる授業をつくる				
1	深い学びへと導く授業づくり	・全体研修 年2回、班別研修 年12回以上 ・各班授業研究会 年2回	「深い学び」を視点を活動・目標を設定し、「何を学んだか」を評価している。	研修課

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
2	個に応じた目標設定と継続した指導の実施	「目標・内容の一覧」を基にした授業研究の実施	学習指導要領「目標・内容の一覧」を基に実態把握—指導—評価を行っている。	学部
3	6区分 27項目を活用した実態→課題→目標→指導→評価の一体化	自立活動全体計画を基にした授業づくり、学習会・ケース会の実施	「自立活動編」を基に課題を見極め、学校生活全体を通じた指導を行っている。	自立活動課
4	自己実現を図るための12年間のつながりのある指導の実施	「楽しい」「任せて」など、育みたい“人間ならではの感性”の明確化と指導の継続	「豊かに生きる」姿に迫るため、学部・学年での指導の重点を明確にしている。	学部
5	ニーズに応じたOJT等による資質能力の向上	・困り感、ニーズの把握 ・外部助言者の招聘 ・若手等サポート体制の構築	研修で学んだことを子供の成長につなげることができている。	学部 研修課
ウ 学びを豊かにする心と体をつくる				
1	他の人との関わり、集団や社会との関わりに関すること等、道徳心の育成	・生徒会等による「あいさつ運動」の実施と評価 ・学校生活上の約束等の明確化と学校全体での一貫した指導の実施	・子供たちは、進んであいさつをし、場に応じた言葉遣いを心がけている。 ・子供たちは、約束等を守っている。	学部
2	健康・安全への意識・知識・行動力など、命を守る力の育成	・体作り運動の導入 毎授業 ・養護教諭、高等部委員会による感染症予防等への呼びかけとアドバイス	子供たちは、健康、安全な生活を送ろうとする意欲をもち、行動している。	体育課 保健給食課
3	自他を尊重する心情と互いに認め合う態度等、人権感覚の育成	生徒会等による「友達を大切にしよう週間」 年2回	子供たちは、自他を大切にしようとする心をもって人と接している。	生徒指導課
4	表現方法の獲得と表現する喜びを味わう経験による表現力の育成	・教員、生徒によるコンサート 学期1回～ ・美術作品校内展示の学部間交流 年1回	子供たちは、様々な素材、表現方法を知り、感じたこと等を表現している。	文化芸術課
5	感情や情景を読み取る力、表現力、想像力等、読書活動を通じた育成	・定期的なお話会の実施 ・読書週間の設定や親子読書の実施	子供たちは、お話会を楽しんだり、自ら本を手にしたたり本に親しんでいる。	図書情報課
エ 学びを広げる関係をつくる				
1	地域で生きる土台づくり	・打ち合わせシートを活用し支援の共有 ・事後評価の実施と今後の体制、支援の共有	居住地校交流について、先方の理解が深まったり、受け入れ態勢が充実したりした。	支援連携課
2	個別案件に即座に対応できる関係機関との連携の強化	・各協議会における連携強化のための方策の確認と情報の共有 ・個々の支援会議、移行支援会議の実施	個の支援充実のため、双方向からのアプローチがみられる関係が築けている。	支援連携課 進路指導課
3	個別の教育支援計画・指導計画を基にした連携の強化	・職員説明会 年度当初 ・ノートやお便りなどでの中間報告（評価）の実施	保護者をはじめとする関係者との共通理解をもって指導にあたっている。	教務課 学部
4 ①	外部機関、地域、保護者等とのつながりを高めるための積極的な情報発信	・HPのレイアウトの変更 ・児童生徒間の活動紹介のページの更新 月4回 ・進路便りの発行 年15回～ ・各協議会と協働した関係機関対象見学会 年2回	学校を理解してもらうための情報を効果的に発信できている。	広報課 進路指導課
4 ②	感謝の気持ちの発信と地域・保護者の学校づくり参画への呼びかけ	「感謝」をコンセプトとした活動の設定 全学部	感謝の気持ちを伝え、学校への理解と協力を呼び掛ける30周年式典を開催できた。	30周年記念実行委員会

様式第1号